

外部評価(事業仕分け)結果にかかる市の対応方針

事業番号	4	事務事業名	乳幼児医療費助成事業	担当課	市民課
評価結果	県		市の対応方針	改善	
外部評価 (事業仕 分け)時 の意見、 要望など	<p><b>【外部評価(事業仕分け)における議論時の意見、要望】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援、母子保険担当部署が担当していない部分に政策、プランの無さが表れている。現状では政策的な部署ではなく、与えられた条件の中でいかに支払うか、間違いが無いかに注力している</li> <li>・これだけ大きな事業費を掛けている割には意図、ねらいも無い。他所もやっているし県も半分出すからやらなければ損と考えてやるのか、それとも効果、結果を検証するための材料を出していくのかという部分が「行政の責任」の話</li> <li>・経済的負担の軽減が目的であるならば、所得制限を設けるべき</li> <li>・制度改正に伴う対象者数の推移を把握している自治体もある。追跡調査等が必要。サービスが引き上がると対象の増により税投入が増える。国保は半額程度税投入されていることを市民に説明すべき。サービスが引き上がるたびに日本中で税を食い合っているということを示さなければ、中学生まで、高校生までの要望が出てきたらただの都市間競争の話になる</li> <li>・医療証に「救急車1回5千円」とか「医療証1枚4万円」等記載して啓発している自治体がある。具体的に示さないと何も伝わらない。そういうデータを管理することが必要。現状では事業の効果は「分からない」となる。そうすると予算も「この程度」となってしまう</li> <li>・まちまちな現状を調整するところはないのか、皆でサービスを抑える努力も必要なのでは</li> <li>・事業を拡大していくことは何かを削るという観点が必要</li> <li>・市長会を通じて事業移管を要望しても国が動く訳が無い。国民、県民的な機運の醸成が必要であり、住民に訴えていくことが必要</li> </ul>				
	<p><b>【評価シート記載コメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政力が弱い中で理念もなしに対象の拡大を図るべきではない。県域レベルでコンセンサスを取る必要があると考える。</li> <li>・目標(早期発見や健康な子どもの環境づくり等だということ)を検証できるデータ無し(田川だけではサンプル不足。他市の作りも見るべき)。</li> <li>・住民や利害関係者に説明できるデータをまずまとめる努力が必要</li> <li>・現行から更に制度を拡大していくには、今後の全体の予算管理が必要</li> <li>・国、県に主体を移すための取組が必要。データ分析が必要。市民説明必要。</li> <li>・与えられた仕事は、当たり前ですが市民に向かっての目標とか、ねらいを入れた計画が必要です！！</li> <li>・医療機関との連動、細分化、きっちりとしたデータを提出することが重大かと。</li> <li>・田川の財政も良くないので。それに保険税も少しは安くなるのでは？県に任せても良いと思う。</li> </ul>				
行政改革 推進本部 決定内容	<p><b>【事業の手法について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児化対策、定住化対策の視点からより充実したものを考えるべき。</li> <li>・基本的に本制度は維持するが、医療費そのものの削減努力を行う。その一環として田川市立病院(小児科医)を巻き込んだと市立病院の連携事業を実施してはどうか。そうすることで、市立病院の経営好転にも繋がる可能性を模索する。</li> </ul>				
	<p><b>【翌年度予算について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・翌年度予算には反映しない。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p>				